

参加  
無料

令和6年度なはSDGS推進事業 ～多様なつながり地域づくり～

# 社会を変える お金の使い方を考える 地域円卓会議

那覇市で始まった「那覇市版SIB」(成果連動型助成)の  
中間報告を通してお金の出し方・使い方をみんなで考える

## 論点提供者

**屋比久 尚也** (那覇市市民文化部まちづくり協働推進課 課長)  
**城間 えり子** 氏 (労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 沖縄事業所 組合員)  
**上原 正弘** 氏 (一般社団法人 琉球フィルハーモニック 代表理事)

「那覇市版SIB (ソーシャル・インパクト・ボンド)」とは、地域内でSDGs達成につながる協働活動を創出し、持続可能な地域社会の実現を目指す新しい資金循環の仕組み(成果連動型助成)です。助成対象団体と市であらかじめ成果目標を設定し、その活動資金の調達に市民・企業の出資を働きかけるという取り組みで、那覇市では令和6年度から進めています。今回の円卓会議では、今年度の報告を通して、市民参画を促し、より成果をあげるためのお金の出し方と使い方について考えます。

※本円卓会議は、「ミチシルベ2025」の共創プログラムとして開催いたします。

2025年 **2** 月 **8** 日 (土) 10:00 - 13:00 (受付開始9:30~)

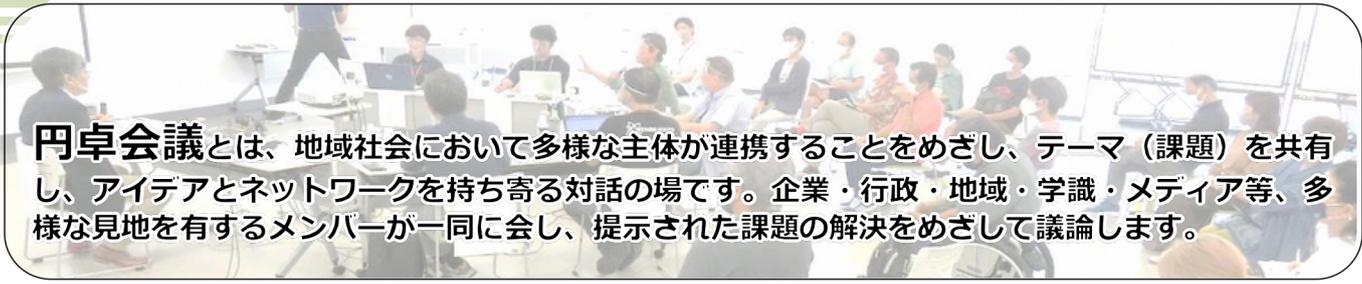
- 会 場** 沖縄国際大学 厚生会館4階ホール (沖縄県宜野湾市宜野湾2丁目6-1)
- 対 象** どなたでも参加いただけます。
- 申込方法** 参加ご希望の方は、右記のQRコード、下記のURLからお申し込み下さい。  
<https://forms.gle/NhqcJ2d2a66sFxYB8>

※webからのお申込が難しい場合は、下記お電話でも受付いたします。

☎ **098-861-1469** (NPO法人まちなか研究所わくわく)



# 社会を変えるお金の使い方を考える地域円卓会議のご案内



**円卓会議**とは、地域社会において多様な主体が連携することをめざし、テーマ（課題）を共有し、アイデアとネットワークを持ち寄る対話の場です。企業・行政・地域・学識・メディア等、多様な見地を有するメンバーが一同に会し、提示された課題の解決をめざして議論します。

## 論点提供者

- ・屋比久 尚也（那覇市市民文化部まちづくり協働推進課 課長）
- ・城間 えり子 氏（労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 沖縄事業所）
- ・上原 正弘 氏（一般社団法人琉球フィルハーモニック 代表理事）

## タイムテーブル（予定）

- 10:00 オープニング・地域円卓会議について
- 10:10 論点提供
- 10:35 セッションⅠ（兼出席者紹介）
- 12:00 サブセッション  
（3～4人グループで意見交換を行います）
- 12:20 セッションⅡ
- 12:50 ふりかえり・まとめ
- 13:00 円卓会議 終了

## 着席者

- ・古謝 玄太 氏（那覇市副市長）
- ・野池 雅人 氏（プラスソーシャルインベストメント株式会社 代表取締役社長）
- ・饒波 正博 氏（なは市民協議会 代表）
- ・井上 慧 氏（沖縄振興開発金融公庫 融資第一部地域振興班）

司会進行：平良斗星

（公益財団法人みらいファンド沖縄 副代表理事）

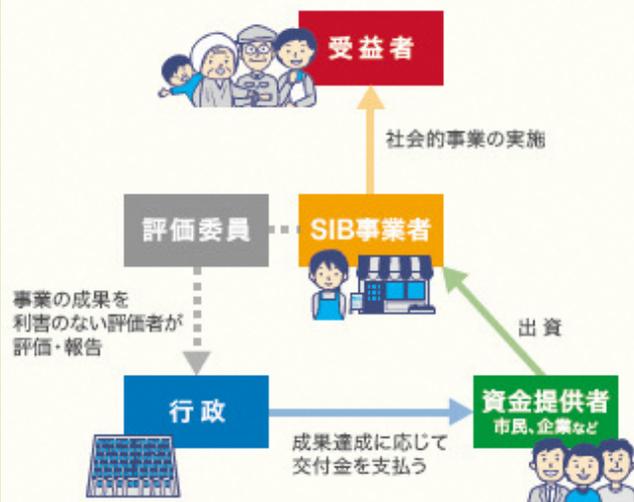
記録者：宮道喜一

（NPO法人まちなか研究所わくわく 代表理事兼 事務局長）

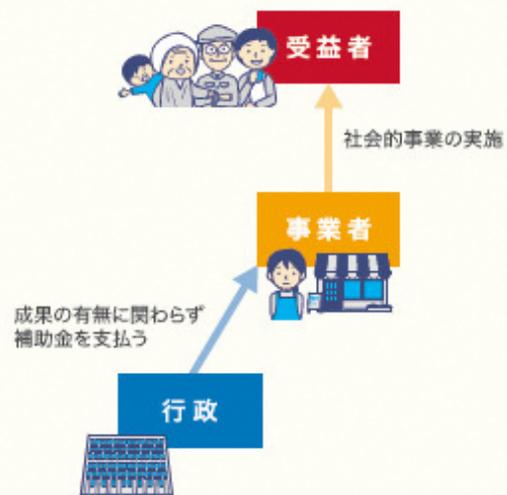
## SIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）とは

SIBとは民間事業者が、市民や企業といった資金提供者から調達した資金をもとに事業を行い、あらかじめ設定した成果目標を達成できれば、行政が資金提供者へ交付金を支払う、成果志向の取り組みです。那覇市においては、市民活動団体が課題および活動を市民・企業と共有し、それに共感した市民・企業が出資をして応援をする取り組みをめざします。「出資」という行為を通じて団体が市民・企業とつながり、応援者が増え、資金が増えます。それによって活動が効果的に実行され、社会にとってよりよいインパクトがもたらされることを期待しています。

### SIBの仕組み



### 一般的な補助金の仕組み



【お問合せ】 NPO法人まちなか研究所わくわく

e-mail : office@machiwaku.com

TEL : 098-861-1469